

じゃんぽ!

令和2年12月25日
岐阜市立岐阜東幼稚園
なつめ組 No.27



何味にしようかな?



雪が積もり真っ白な世界にドキドキ…。一番最初に登園したAくんと一緒に、まだ誰も踏み入れてない雪をそっと歩いていくと足のスタンプができました。一番の特権ですね😊

そり滑りに雪だるま作り、かき氷やさんまで。雪が積もった日にしか遊べない特別な遊びでした。寒いのも気にならないくらい体いっぱい楽しめました。来年もまた雪遊びができるかな?楽しみですね!



親子ふれあいフェスティバルのプレゼントにももらった短縄跳びを使って、縄跳びに挑戦しています。年中児になると、「難しいからやりたくない、できないからやらない」などネガティブな気持ちも出てくるようになりました。そういった気持ちも十分に受け止め、「でも、やってみたらできた!」と気持ちを奮い立たせて挑戦する気持ちをもってほしいと願い、縄跳びに誘っています。跳べるようになることももちろん大切ですが、難しいと対していることに対して自分がどのような気持ちで頑張るのか、根気よく取り組むといった過程を大切にしたいと思っています。

Aくんは最初、「縄跳びできないからやらない。」と言って友達の様子を見ていましたが、私や周りの子から誘われ、一緒にすることになりました。一人で跳ぶのは難しいので、私と手をつなぎながら跳ぶリズムを確認してからやります。リズムさえ掴めればあとは跳ぶだけ。1回跳ぶことができました。どんよりしていた顔が、ぱあーっと明るくなりとても嬉しそうなお表情で私とハイタッチをして喜び合いました。Aくんのやってみようとした挑戦した気持ちや、1回跳べた喜びが、次への意欲へとつながっていくことを感じました。遊びが終わるころには、「明日も縄跳びやろっと。」と言って楽しみにする姿がみられ私も嬉しくなりました。

ぜひ、冬休み中もご家族の皆様で縄跳びにチャレンジしてみてください!





Merry
Christmas

この日は朝から（前の日の夜からの子も？笑）ドキドキワクワクしていましたね。年に一度の特別な日。子供たちは楽器を演奏したり、お話を聞いたりしてクリスマスの雰囲気を楽しみました。質問コーナーで、サンタさんが500歳ということも分かり、ますますサンタさんへの憧れ意識が強まりました。

夢のようなひと時を過ごし、子供たちはにこにこ笑いとてもかわいらしかったです。



2学期もありがとうございました！



2学期もありがとうございました。コロナ禍の中での遊び、生活、行事など昨年度と比べ、制限されてしまうこともありました。無事2学期を終えることができました。そんな中でも、子供たちの気持ち（“遊びたい！” “もっとこうしてみたい！” “どうしてなのかな…”？）は変わることなく、心も体もぐーんと大きく成長したのではないかなと思います。2学期になり、自分たちの思いを出して遊ぶことが増え、その分周りの友達との思いの違いにやきもきし、ケンカをすることも増えてきました。“なんか幼稚園行くのやだな…”と気持ちがどんよりしたり、涙がこぼれてしまう日もきっとあったと思います。それは、遊びに対して思いや考えを子供たちなりに強くもつことができるようになったことや、場を共有する友達との関係から徐々に関わりが広がり、友達と一緒に遊ぶことが楽しくなってきたからこそだと思います。思いを出し合いながら遊んでいくことで、遊びが楽しくなってきたり、考えたり工夫したことが遊びになっていく面白さ、友達に刺激されやってみようかなと挑戦する気持ちなど、そういった力がぐんぐんと育てられている過程に子供たちはいます。3学期も、子供たちの心に寄り添いながら、思い切り遊べるように支援していきます。

2学期も、温かく見守り支え、元気よく子供たちを送り出してください、ありがとうございました。保護者の皆様のおかげで、園生活を送ることができました。本当にありがとうございました。よいお年を…🍷

なつめ組担任